

透明高導電コーティング剤

デナトロン PT-436

○ 特長 ○

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 高透明で低抵抗
- 各種基材への密着性が良好

○ 用途例 ○

- タッチセンサー
- 電磁波シールド
- フィルムヒーター



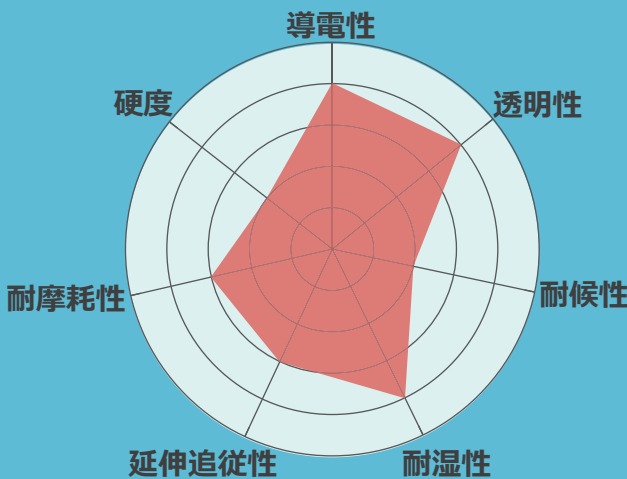
○ 液物性 ○

	PT-436-A	PT-436-B
外観	濃青色	透明
主な成分	導電材 バインダー樹脂	導電性向上剤
主な溶剤	水	水・アルコール
pH	2~3	7~9
粘度	10~30 mPa・s	2~5 mPa・s
貯蔵安定性 (1~25℃)	6か月以上	6か月以上

混合
➤➤

PT-436
混合比率 (wt%) A液 : B液 = 1 : 1
pH = 2~3
固形分 1wt%
フロアライフ 1週間

○ 膜物性 ○



	配合比率 (wt%)			塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	A	B	希釈剤			
塗工例 1	25	25	50	8	1000	99
塗工例 2	50	50	0	8	500	98
塗工例 3	50	50	0	18	150	95

耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
 耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
 耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



デナトロンスペシャルサイト

More Information

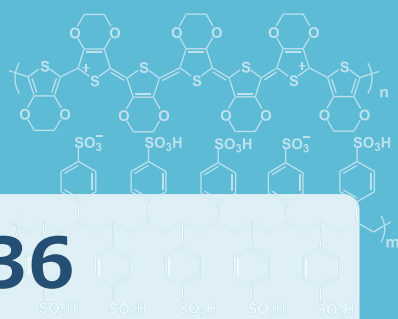
ナガセケムテックス株式会社

機能化学品事業部

〒550-8668 大阪市西区新町 1-1-17

Mail : ncxmail_fcd@ncx.nagase.co.jp TEL:06-6535-2541

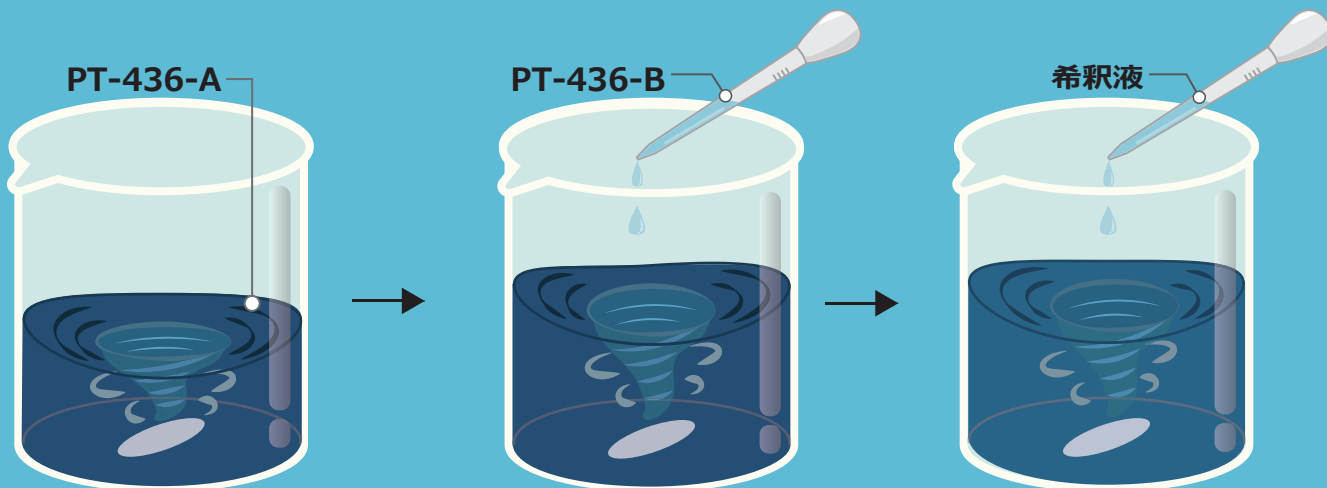




透明高導電コーティング剤

デナトロン PT-436

液の作製方法



① PT-436-A を準備し、
攪拌を開始します。

② 攪拌しながら PT-436-B
をゆっくり添加してください。

③ 攪拌しながら希釈液を
ゆっくり添加してください。
※推奨は 50%含水エタノールです。
(エタノール 50wt%+ 水 50wt%)

塗膜の作製方法

- ① ワイヤバー、スプレー、スピン、グラビア、スリット、ディップなど汎用的なコーター装置を用いて塗布してください。
推奨基材はプラスチックフィルム (PET, PMMA, TAC, PC など) やガラスです。
- ② 80~130℃にて 2~5 分程度乾燥してください。
※乾燥オープンの能力によっては、乾燥不足が原因で狙いの物性が出ない場合があります。
その場合は乾燥温度や時間などを上げて、表面のタック性が無くなるまで乾燥してください。

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。



デナトロンスペシャルサイト

More Information

ナガセケムテックス株式会社

機能化学品事業部

〒550-8668 大阪市西区新町 1-1-17

Mail : ncxmail_fcd@ncx.nagase.co.jp TEL:06-6535-2541



NAGASE Group